

女性を対象にした「町長と語る会」記録（H28.7.28） 参加者 女性11人

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
1	<p>子育て支援の充実とありますが、具体的にはどのようなものを考えていますか。</p>	<p>「町長」 保育園の課題で言われているのが、職場復帰が2番目の子どもが生まれると難しいことや、0歳から預けたいが、保育士の確保が困難で要望に応えられていないことが挙げられます。 幸い三川町の場合、0歳児でも受け入れており、選択肢としてこの保育園があります。待機児童は三川町にはいませんが、2人目以降の子どもを保育園で受け入れる環境を作ることが課題です。行政からの経済的な支援をしているが、お金目的になり始めている傾向があり、どこの行政機関でも同じことが起こってきているのが現状です。お金ではなく、環境づくりや学童保育と学力向上のための教育力向上を目指しています。そのために三川町では子育て支援センター・学童・公民館の一体的な施設の建設を検討しています。その施設にはホール機能・遊具・子育て施設がすべて入る予定ですので、できる限り早く建設計画を進めたいと思います。 「企画調整課長」 屋内遊具施設、学童子育て拠点施設、ホールが一体となった施設についてこれから教育委員会が中心になって基本計画から段階を踏んで、保護者の意見を聞きながら進めていく予定です。</p>	—	
2	<p>三川町には土日の休みに育児を連れて行けるような大きな公園がないので、他市町に行っています。三川町に屋内施設ができるのを楽しみにしています。また、子育てを1人で抱え込みがちなので、保育園がやっていない夜間や土日に子どもの面倒を見てくれるファミリーサポート事業があれば子育てしやすいと思うのですが。</p>	<p>「町長」 今言われたことが問題として表面化しているのが、都会の待機児童の問題でしょう。そこで、都会では保育園規模ではなく、誰かに個人単位で子どもの面倒を見るのを依頼する傾向も出てきています。地方にいくと施設が充実しているのでいらないと思われがちですが、都会だけの問題ではなく、地方もこれからはファミリーサポート事業のようなものが不可欠だと思います。</p>	教育委員会	<p>ファミリーサポート事業は、本町では人口規模が小さいため実施していませんが、庄内南部地区の広域利用制度として、鶴岡市の事業を利用することが可能です。</p>

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
3	<p>三川町でもファミリーサポート事業のようなものを登録制にして、他の世代から応援をもらえる仕組みが欲しいのです。</p> <p>以前、三川町の回答として、ファミリーサポート事業については鶴岡市に登録をと言われましたが、三川町でもファミリーサポート事業があれば助かります。</p> <p>子どもの面倒を見たくても見られない人がいて、その人たちはファミリーサポート事業があればたくさん登録すると思います。</p> <p>また、頼む側としてもタダで頼むよりも賃金を払って頼みたいと考えている人が多いです。サポートを受ける側の人でも非常時のマニュアルを習う講習や研修を受けたりできれば良いと思います。</p>	<p>「町長」 明日、会議があり、子育て家族にアンケートを取ろうと考えています。規模が大きい会社では託児所もあるが、そのような保護者の働く環境づくりにあたって、どれだけ保護者の要望があるのかをアンケートの質問事項に入れ込むように指示したいと思います。</p> <p>「企画調整課長」 学童・子育て支援センターの中核機能を果たす施設ができれば、その施設整備に合わせてファミリーサポートをどのような形で三川町としてできるか、担当に伝えたいと思います。</p>	教育委員会	No.2の回答によるところですが、検討すべき課題として捉えております。
4	<p>幼保に預けられる時間帯を早朝7:30～を7:00～にして欲しいです。</p>	<p>「町長」 この問題は少子化の問題として皆さんの意見に対応していく必要があります。利用者の個々の状況はいろいろ違いますが、いろいろな意見を聞いているので、担当に検討させます。</p> <p>「企画調整課長」 アンケートでも早朝7:00から預かって欲しいという希望がありました。幼保の終わる時間にまだ仕事をしていれば19:00を過ぎますし、土日勤務もある場合があります。それらの現状を考慮した土曜日・日曜日の保育園開放についても皆さんの意見を担当課に伝えたいと思います。また、保育園への人員配置についても必要性、緊急性を確認する必要があると思いますので担当課に伝えます。</p>	教育委員会	<p>本町においても保育士不足が深刻化していることから、労働条件の改善を行っていますが、現在も人員の確保に困難を極めているところです。</p> <p>開園時間の拡大のためには職員を増員する必要があるため、現時点ですみやかな拡大を図ることが難しい状況となっております。</p>
5	<p>幼保の開園時間を早くしてもらいたいです。(具体的には7:00～19:30)</p>	<p>「町長」 今までの町の対応としてはいこの保育園としていましたが、今後の会議等でみかわ幼保の早朝や延長、休日の保育時間について検討します。</p>	教育委員会	No.4の回答と同じです。

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
6	<p>保育園で3歳児を預けられるのは勤務していないと条件的に不可能なため、3歳児の待機児童はいると聞いています。三川の保育園では3歳児を預けられないので、鶴岡市の施設に預けてそのまま三川町を転出した人もいます。周りにも3歳児を預けたいという希望者がたくさんいるので母親が働いている、働いていないに関わらず、3歳児を預けられるようにして欲しいです。また、病児保育をみかわ幼保にもつくって欲しいです。今の状態だと仕事もしにくいです。</p>	<p>「企画調整課長」 三川町の制度では0～3歳は保育園、4、5歳は幼稚園となっていますが、待機児童問題を解消するために現行制度を変えるのは、国の審査の関係もあるのでなかなか厳しいものではありませんが、担当に要望を伝えます。</p>	教育委員会	<p>保育園は、保護者が仕事や病気等で家庭での保育が困難である場合に入園できる施設であることをご理解願います。</p> <p>また、みかわ幼保での病児保育については、施設の改修又は増築が必要となるため、その対応が難しい状況にありますが、いのこ保育園で行っておりますのでご利用ください。</p>
7	<p>3歳児も幼稚園として扱って欲しいという要望を三川町に出していましたが、町の財政や国の制度の関係上難しいのでしょうか。</p>	<p>「企画調整課長」 国の法的制度の関係もあるので担当に確認します。</p>	教育委員会	<p>厚生労働省（保育園棟）と文部科学省（幼稚園棟）からの補助金により施設建設を行っているため、3歳児の幼稚園化は難しい状況です。</p>
8	<p>山形市で幼少期の子どもを育てましたが、当時は近所の人に預けて面倒を見てもらったり、核家族ながらもみんなで協力し合って育ててきました。しかし、子どもが小学校1年のときに三川に来て、自分の子どもの周りは小さいころから一緒にいるので、他の地域から来た人にとっては入りづらい雰囲気でした。子どもだけでなく、母親も合わせたサポートがあればいいと思うのですが。</p>	<p>「町長」 三川町の傾向として、昔ながらの農村社会が根付いている影響からか、外部から来た方がなじむのは時間がかかると聞いています。また、保護者の交流の機会がないのできっかけづくりを社会教育でできないか検討します。</p>	教育委員会	
9	<p>三川町には立派な小・中学校がありますが、児童数が少ないと思います。教育環境としては人数が少ないれば手をかけてもらいやすいが、人数が少ない分、小さな世界となってしまう、高校へ進学した際、小さな世界から人数が多い大きな世界へ入ったときにギャップを感じてしまうのではないかと心配があります。鶴岡の加茂では小学校の統合もありますが、三川町ではどうなのでしょう。</p>	<p>「町長」 地区の子どもの数はかなり減ってきました。平均で1学年20人程度だと思います。また、競争という面では不足しています。県内でも学校の再編が出てきています。</p>	教育委員会	

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
10	<p>土日も子育て支援センターがあれば利用してみたいです。三川町に将来建設される子育ての新施設に期待しています。遊佐町の施設では大きい子と小さい子が部屋が分かれています。その場合だと歳の差が大きい兄弟姉妹は同じ部屋で一緒に遊べないのでつまらないと思います。施設を建設する際、事前に親の意見を取り入れて欲しいです。</p>	<p>「企画調整課長」 新施設の建設はこれから計画を立てますが、いろいろな保護者の方の意見を聞いて、どうすれば要望に応えられるか参考にしたいと思います。</p>	教育委員会	<p>子育て支援センターの土日開設については新施設建設と併せ、検討してまいります。 また、年齢が離れた子が同じ部屋で遊ぶことについては、体格差の違いから危険という指摘もあります。 施設建設に当たっては、保護者や保育関係者からなる検討委員会や、パブリックコメントにより意見をお聞きし、進めてまいります。</p>
11	<p>三川町に転入してきた当初はわからなかったが、子育て支援センターや大家さんなどと少しずつ知り合ったり、近所の人たちが目をかけてくれたので安心できました。子どもがいる事情を知ってもらえたのは良かったです。</p>	<p>「町長」 新しく団地に引っ越してきた方たちにとっては、農村集落に慣れて一体感を感じるまで時間がかかると思います。桜木・袖東はできてから30年経過し3世代となり住みやすくなったのではないかと思います。</p>	—	
12	<p>妊娠中に、出産後の体験教育を開催して欲しかったです。イベントが開催されていても回数が少なかったり、開催時期が参加希望時期と合わなかったりしました。月1回ぐらいのペースで体験できれば良いと思います。一人だと行きにくいので、誰かと一緒に複数人で参加できるようなイベントを開催して欲しいです。</p>	<p>「町長」 出産、子育ての相談は子どもが生まれてからも行政で相談は受けているが、年数回しか実施していなければ、時期が合わない場合もありうる。状況が切迫した方の相談を受ける体制が必要かと思えます。 「企画調整課長」 イベント開催時期と開催回数を増やして欲しい旨を担当にも伝えます。</p>	健康福祉課	<p>以前は、赤ちゃんと育ち合うための「パパママ講演会」という事業を年1回開催していましたが、医療機関において両親学級や産後ケア等の指導・助言が充実してきていることから、当該教室を中断した経緯にあります。 今後は、産後訪問時等に相談・指導支援を充実させるなど、各位の個別的なニーズに対応できるよう効果的な支援策を充実してまいります。</p>
13	<p>茨城県出身だが、個人的には要望は特にはありません。三川町の子育て政策には満足しています。実家の母に聞いても中々三川町のような政策はないと言っていました。今後、意見があれば言わせていただきたいと思いますので、そのときはよろしくお願いします。</p>	—	—	

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
14	<p>4世代で暮らしているが、子どもを送り迎えするときに、親の具合が悪くなって送り迎えできなくなったときのサポートがあればいいなと思います。</p>	<p>「町長」 体調が悪いときに送り迎えをしてくれるサービスは高齢者にはいろいろありますが、子育てにはないのが現状です。ラコスには高齢者の宅配サービスや買い物客の送迎があります。社会福祉協議会であれば何かできることがあるかもしれないので検討してみます。</p>	健康福祉課	<p>現在、社会福祉協議会では高齢者向けの送迎サービスを、中高年ボランティアの協力により展開しています。 同様に、母親世代のボランティアをご紹介いただければ支援体制が充実いたしますので、積極的なご協力をよろしくお願いいたします。</p>
15	<p>町長の考えとしては婚活事業についての方針として、酒田市等と提携していくのか三川町として独自路線で運営していくのか、意見をお聞きしたいです。 婚活事業について今までの経験・情報があるので、酒田市から声をかけられているが、三川在住なので、酒田市に全面的に協力しづらい感じがします。</p>	<p>「町長」 県内にも婚活のサポートセンターができています。三川町はみかわ振興公社に委託していて、なの花ホールで年1回婚活イベントを実施しています。 婚活事業については酒田市、庄内町、遊佐町、三川町でいろいろな事業で連携をしているので、酒田市が婚活事業を進めているのであれば、遊佐町や庄内町に続いて、三川町も事業費を負担しながら、事業に協力していく方向でいくつもりです。</p>	—	